



日本医療機関評価機構



KUMAMOTO
SHINTO
General Hospital

KUMAMOTO SHINTO General Hospital 病院だより

H27年度 診療体制のご案内

2015.6
第6号

医療法人創起会
くまもと森都総合病院

Kumamoto Shinto General Hospital

〒862-8655 熊本市中央区新屋敷1丁目17番27号

TEL: 096-364-6000 (代表)

FAX: 096-362-5204 (代表)

URL: <http://www.k-shinto.or.jp>

私たちは、質の高い医療を通じて
地域に愛され、
親しまれる病院をめざします。

ごあいさつ

新任医師紹介

2015年度初期研修医

異動のおしらせ

総合診療科

肝臓・消化器内科

血液内科

呼吸器内科

循環器内科

腎臓内科(透析室)

リウマチ・膠原病内科

乳腺センター

外科

整形外科

皮膚科

産婦人科

眼科

麻酔科

放射線科

歯科・口腔外科

病理診断科

健診センター

在宅療養支援

ご挨拶

理事長・院長 藤山 重俊



日頃、何かとご指導・ご支援いただき、厚く御礼申し上げます。

当院は急性期病院としての機能を維持しつつ、在宅療養支援病院として在宅急変時の一時入院受け入れや皮膚科専門医による往診などを行っていますが、さらに、本年4月から新たに西村副院長、大佐古センター長など4名の医師からなる「乳腺センター」および有馬診療部長による「病理診断科」を開設しました。加えて、産婦人科医(女医)、麻酔科医の増員、「総合診療科」の外來診療(月曜～金曜)など、診療機能の更なる充実を図っています。

また、長年の悲願であった新病院建設も、大江3丁目のJT跡地に本年9月に着工、平成29年春に移転の予定で準備を進めています。

これからも「質の高い医療を通じ地域に愛され、親しまれる病院を目指す」ことを基本理念に、地域医療への貢献を果たすべく、職員一同邁進していく所存でございます。本年度も何卒よろしくご指導、ご鞭撻いただきますようお願い申し上げます。

地域医療連携室長就任のご挨拶

地域医療連携室長兼血液内科部長 下村 泰三



平素より当院地域医療連携室に格別なご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、このたび鈴木仁内科診療部長の後任として、地域医療連携室長の任につくこととなりました。どうぞ宜しくお願いいたします。

昨今の医療情勢では医療の効率性を高めるために病院の機能分化が要求されています。もはや病院完結型医療ではなく病診、病病連携を推進する地域完結型医療が必要不可欠になっております。この点において地域医療連携室は病院業務の中でも非常に重要な役割を持っていると考えています。

当室は、これまでかかりつけ医である開業医の先生方や地域の病院の先生方をはじめ、福祉関連事業所の担当者の皆様など様々な職種の方々と連携を図りながら、地域医療に貢献していく対応の窓口として業務を進めてまいりました。

今後さらにこれを充実したものにすべく、微力ではございますが、誠心誠意努める所存でございます。何卒、宜しくお願いいたします。

新任医師紹介



副院長(乳腺センター)

西村 令喜
Reiki Nishimura

山口大学医学部(昭和51年卒)
熊本大学大学院(昭和57年)医博
前任:熊本市民病院乳腺内分泌外科

4月1日より、新しく創設されました乳腺センターに勤務しています。これまでも乳腺疾患の診療に主に従事していましたが、今後はセンター化ということで、チーム医療という観点での体制作りに努めています。患者さんの満足度および診療レベルの向上を目指して、皆で頑張っています。今後とも本院ならびに本センターをよろしくお願ひします。



病理診断科診療部長(臨床検査科部長兼任)

有馬 信之
Nobuyuki Arima

久留米大学医学部(昭和58年卒)
前任:熊本市民病院診療部長(病理診断科部長
ならびに中央検査部部長兼任)

この4月より病理診断科に勤務することになりました。ひとりでも多くの患者さまに貢献できるように全身の病理診断が可能のように努力してまいりました。腫瘍性疾患のみならず、非腫瘍性疾患にも対応可能です。迅速かつ正確な病理診断を最大の目標として、各診療科と協力しながら、患者さまを中心とした医療に努めてまいりますので、よろしくお願ひいたします。



放射線科部長

畑中 義美
Yoshimi Hatanaka

熊本大学医学部(昭和57年卒)
前任:公立玉名中央病院

縁あって当病院でお世話になることになり新たに心引き締まる思いで勤務しています。大学では腹部・骨盤領域専門でしたが、関連病院勤務では脳神経から整形領域までオールラウンドの画像診断に携わってきました。また学位のテーマとした肝細胞癌のTACEも当院で再び行うことになり、あの頃の情熱が思い出され、青春よ再びの気持ちで働かしてもらっています。ちなみに出身は鹿児島です。



乳腺センター センター長

大佐古 智文
Tomofumi Osako

熊本大学医学部(平成1年卒)
前任:熊本市民病院乳腺内分泌外科

平成27年4月1日から乳腺センターに勤務することになりました。平成元年に熊本大学を卒業し、旧第一外科および関連病院で一般消化器外科を研修しておりましたが、平成10年ころからオンコロジーの必要性を痛感するようになり、次第に乳腺診療の面白さにひかれるようになりました。平成14年に、がんセンター中央病院で研修させていただき、その後は熊本労災病院、聖隷浜松病院、熊本市民病院で乳腺外科ならびに乳腺のオンコロジーに関して研修を進めてまいりました。この度、縁あって伝統あるくまもと森都総合病院で働かせていただけることとなりました。また、新たに乳腺センターを開設していただいたことに大変感謝しております。今後は、今まで以上に乳腺診療に邁進し、当院の一員として病院全体の診療の底上げに寄与できればと考えております。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。



乳腺センター 副部長

西山 康之
Yasuyuki Nishiyama

熊本大学医学部(平成2年卒)
熊本大学大学院(平成11年)医博
前任:熊本市民病院乳腺外科医長

4月より当院に新設された乳腺センターで勤務させていただくことになりました。当センターは最善の乳腺治療を提供することが使命と考えています。乳房の不安で来院される方々に対して、病理診断科有馬信之先生と協力し、正確で迅速な診断を行い、乳腺と診断された患者さんに対して最適な治療を行います。また、がんサバイバーにまつわる諸問題(ボディイメージ・不妊・家族との関わり)などにも積極的に取り組んでいきたいと考えています。今後院内のあらゆる部署との連携が必要になります。どうぞよろしくお願ひします。



消化器外科部長

桑原 暢宏
Nobuhiro Kuwahara

宮崎医科大学(現 宮崎大学医学部)(平成2年卒)
前任:玉名地域保健医療センター-外科

平成8年9月から1年間勤務させていただいた当院外科に本年4月1日付けで再び勤務させていただけることになりました。専門は腹部消化器外科です。消化管疾患以外に肝胆膵疾患の診療にも積極的に取り組んでいきたいと考えています。宜しくお願ひ申し上げます。



麻酔科副部長

田口 裕之
Hiroyuki Taguchi

熊本大学医学部(平成8年卒)
前任:天草地域医療センター

4月1日付けで麻酔科に勤務することになりました。平成8年に熊本大学を卒業し、熊本中央病院、山鹿市民医療センター、熊本大学附属病院、天草地域医療センターにて手術室麻酔業務を中心に診療にあたって来ました。

長年、大津麻酔科部長が一人で手術麻酔、ペインクリニック外来の診療を頑張っておられたのを微力ながら助け、安全・確実な医療の提供が出来ればと思っています。



肝臓・消化器内科医長

岩下 博文
Hirofumi Iwashita

熊本大学医学部(平成11年卒)
熊本大学大学院(平成20年)医博
前任:公立玉名中央病院

肝臓・消化器内科に4月から勤務しております岩下博文です。平成11年卒です。公立玉名中央病院から異動してまいりました。病院に少しでも貢献できるように頑張りますのでよろしくお願ひいたします。



眼科医師

堤 孝之
Takayuki Tsutsumi

熊本大学医学部(平成17年卒)
前任:熊本大学医学部附属病院眼科

4月1日より5年ぶりに当院で勤務することとなりました。診療と手術を積極的に取り組みたいと思います。少しでも皆様のお役に立てるよう努力いたしますので宜しくお願ひいたします。



産婦人科医師

吉里 直子
Naoko Yoshizato

高知医科大学医学部(平成9年卒)
熊本大学大学院(平成16年)医博
前任:熊本労災病院

4月1日より産婦人科に勤務させていただくことになりました。水井部長には、熊本医療センターでお世話になりましたが、診療・患者さんに対する真摯な態度に磨きがかかっており、頭が下がる毎日を送っております。まだまだ未熟でご迷惑をおかけしますが、よろしくお願ひ申し上げます。

2015年度 初期研修医



皮膚科医師
松尾 敦子
Atsuko Matsuo

佐賀医科大学医学部(平成13年卒)
前任:熊本大学医学部附属病院皮膚科

4月より当院で勤務することになりました。6年前に、3年間当院で勤務していましたが、また戻ることができることがとても嬉しく思っています。外来診療、良性腫瘍・悪性腫瘍の手術など幅広く積極的に取り組んでいきたいと思っています。どうぞ宜しくお願い致します。



血液内科医師
上野 満徳
Mitsunori Ueno

熊本大学医学部(平成23年卒)
前任:熊本大学医学部附属病院

このたび、4月1日に、前任地である熊本大学医学部附属病院よりくまもと森都総合病院へ異動となりました。多くの先生方のご指導のもと、日々精進に励んでおります。

専門の血液内科のみでなく、広く見識を深めていきたいと考えておりますので、ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。



肝臓・消化器内科医師
石貫 敬子
Keiko Ishinuki

鹿児島大学医学部(平成22年卒)
前任:済生会熊本病院消化器内科

この4月より肝臓・消化器内科で勤務させていただくことになりました。初期研修終了後、熊本大学の消化器内科に入局して1年勤務し、今年3月まで2年間済生会熊本病院で勤務しておりました。あたたかく迎えていただき、ありがたく思っております。まだまだ未熟ではございますが、少しでも皆様のお役に立てるように頑張っていきたいと思っております。検査も積極的にさせていただきます。どうぞよろしくお願い致します。



乳腺センター医師
藤末 真実子
Mamiko Fujisue

熊本大学医学部(平成19年卒)
前任:熊本市市民病院

4月1日付で当院に勤務することとなりました藤末と申します。初期臨床研修終了後、熊本大学乳腺内分泌外科に入局し、今年3月まで熊本市市民病院に勤務しておりました。今回乳腺センター新設に伴い、尊敬する先生方と共にこちらで勤務させて頂けることを大変ありがたく思っております。現在主に外来での業務を担当しております。まだまだ未熟でご迷惑をおかけすることも多いと思っておりますが、少しでもお役にたてるよう精一杯努力いたします。どうぞよろしくお願い致します。



今泉 裕貴
Yuki Imaizumi

熊本大学医学部(平成26年3月卒)

4月より当院で初期研修をさせていただくことになりました。まだまだ未熟で何も分からない中ですが、先生方ははじめスタッフの皆様の丁寧なご指導のもと、毎日とても勉強になる研修生活を送らせていただいております。大変感謝しております。これからも皆様のお役に少しでもたてるように努力いたしますので、ご指導よろしくお願致します。



前崎 哲宏
Tetsuhiro Maesaki

久留米大学医学部(平成27年3月卒)

4月1日より当院で初期研修をさせていただいている研修医1年目の前崎哲宏と申します。初めは右も左もわからない事だらけでしたが、指導医の先生方初め、スタッフのみなさんの丁寧な指導のもと、徐々に業務に慣れてくる事が出来ました。

まだ、みなさんに迷惑をかけてしまうことも多々あるとは思いますが、医師として患者さんや病院の為に役立てる様に頑張りたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。



横山 未奈
Mina Yokoyama

熊本大学医学部(平成27年3月卒)

4月より初期研修で2年間お世話になります横山と申します。分からないことだらけの毎日ですが、先生方をはじめとした病院のスタッフの皆様により優しくいただき、楽しく研修生活を送らせていただいております。これから多くのことを学んでいきたいと思っております。よろしくお願致します。

異動のお知らせ

| 科/氏名 | 異動先 |
|----------------------------------|---------------------|
| 肝臓・消化器内科 原岡 克樹 | 熊本地域医療センター |
| 外科 岡部 和利 | 岡部病院 |
| 外科 小森 宏之 | 玉名地域保健医療センター |
| 皮膚科 中嶋 泰治 | 熊本労災病院 |
| 眼科 黄 益培 | 熊本総合病院 |
| 放射線科 長谷川 秀水 | 済生会熊本病院 |
| 血液内科 辻橋 みずほ (旧姓:紺田) | 荒尾市民病院 |
| 研修医 菊池 陽子 | 熊本大学医学部附属病院 放射線科 |

総合診療科

どの診療科に相談していいのかわからない症例をご紹介いただけましたら、積極的に診療を行わせていただきます。



内科診療部長
鈴木 仁
Hitoshi Suzushima

【担当分野】
・血液疾患
・感染症

熊本大学医学部(昭和61年卒)
熊本大学大学院(平成5年)医博



血液内科部長
(地域医療連携室長)
下村 泰三
Taizo Shimomura

【担当分野】
・血液疾患
・内科一般

熊本大学医学部(平成4年卒)
熊本大学大学院(平成12年)医博



血液内科医長
藤本 哲広
Tetsuhiro Fujimoto

【担当分野】
・血液疾患
・内科一般

熊本大学医学部(平成7年卒)
京都大学大学院(平成14年)医博



リウマチ膠原病内科医師
高岡 宏和
Hirokazu Takaoka

【担当分野】
・リウマチ性疾患
(関節リウマチ・膠原病)

熊本大学医学部(平成16年卒)

肝臓・消化器内科

肝臓・消化器病分野で、関連各科と密に連携できる特徴を活かして、より正確に診断し、患者さまひとり一人に応じた治療ができるよう努力しています。



院長
藤山 重俊
Shigetoshi Fujiyama

【担当分野】
・肝臓病学
・消化器病学
(特にウイルス肝炎の
診断・治療・予防、肝癌
の診断と治療)

熊本大学医学部(昭和45年卒)
熊本大学大学院(昭和51年)医博



肝臓・消化器内科部長
宮瀬 志保
Shiho Miyase

【担当分野】
・消化器内科
・肝臓内科
(特にウイルス肝炎の
診断・治療・予防、肝癌
の診断と治療)

佐賀医科大学(平成6年卒)
熊本大学大学院(平成17年)医博



肝臓・消化器内科医長
岩下 博文
Hirofumi Iwashita

【担当分野】
・消化器内科
・肝臓内科

熊本大学医学部(平成11年卒)
熊本大学大学院(平成20年)医博



肝臓・消化器内科医師
束野 奈津美
Natsumi Tsukano

【担当分野】
・消化器内科
・肝臓内科

熊本大学医学部(平成18年卒)



肝臓・消化器内科医師
石貫 敬子
Keiko Ishinuki

【担当分野】
・消化器内科一般

鹿児島大学医学部(平成22年卒)

血液内科

血液疾患、特に白血病や悪性リンパ腫、多発性骨髄腫などの血液悪性腫瘍を中心に血液疾患全般について診断、治療を行っていますが、その他にも不明熱患者さまの紹介もお受けしています。



内科診療部長
鈴木 仁
Hitoshi Suzushima

【担当分野】
・血液疾患
・感染症

熊本大学医学部(昭和61年卒)
熊本大学大学院(平成5年)医博



血液内科部長
(地域医療連携室長)
下村 泰三
Taizo Shimomura

【担当分野】
・血液疾患
・内科一般

熊本大学医学部(平成4年卒)
熊本大学大学院(平成12年)医博



血液内科医長
藤本 哲広
Tetsuhiro Fujimoto

【担当分野】
・血液疾患
・内科一般

熊本大学医学部(平成7年卒)
京都大学大学院(平成14年)医博



血液内科医師
渡邊 祐子
Yuko Watanabe

【担当分野】
・血液疾患
・内科一般

鹿児島大学医学部(平成18年卒)



血液内科医師
上野 満徳
Mitsunori Ueno

【担当分野】
・血液疾患
・内科一般

熊本大学医学部(平成23年卒)

呼吸器内科

呼吸器疾患の全ての領域について、良質で丁寧な医療とサービスを提供することを念頭に診療を行っています。



呼吸器内科部長
彌永 和宏
Kazuhiro Iyonaga

【担当分野】
・呼吸器内科
・びまん性肺疾患
・呼吸器感染症

熊本大学医学部(昭和63年卒)
熊本大学大学院(平成7年)医博



呼吸器内科医長
松岡 多香子
Takako Matsuoka

【担当分野】
・呼吸器内科
・禁煙外来

熊本大学医学部(平成2年卒)
熊本大学大学院(平成10年)医博

循環器内科

高血圧症患者や脂質異常症患者への心血管病に対する一次予防、および心血管病既往患者の二次予防、心不全の管理治療、不整脈(主として心房細動)の管理治療を中心に行っています。



循環器内科部長
藤井 裕己
Hiromi Fujii

【担当分野】
・循環器疾患全般の
内科診療
・心臓超音波

熊本大学医学部(昭和56年卒)
熊本大学大学院(昭和62年)医博

腎臓内科(透析室)

蛋白尿などの検尿異常から、腎機能低下、末期腎不全に至るまでの慢性腎臓病(CKD)の管理を中心としつつ、急性期から慢性期まで腎疾患全般にわたって診療を行っています。



腎臓内科医長
水足 謙介
Kensuke Mizutani

【担当分野】
・腎臓内科
・血液浄化療法

川崎医科大学(平成5年卒)

リウマチ・膠原病内科

当施設は国立病院機構を中心とした関節リウマチの臨床データベースであるNinJaの協力機関であり、全国の治療動向をふまえた医療を提供できます。



リウマチ膠原病内科部長

中村 正
Tadashi Nakamura

【担当分野】
・リウマチ性疾患
(関節リウマチ・膠原病)

熊本大学医学部(昭和55年卒)
熊本大学大学院(昭和59年)医博



リウマチ膠原病内科医師

高岡 宏和
Hirokazu Takaoka

【担当分野】
・リウマチ性疾患
(関節リウマチ・膠原病)

熊本大学医学部(平成16年卒)

乳腺センター

総合的な乳腺疾患の診断、治療を担う施設としてオープンしました。正確で迅速な診断(当日に細胞診判定)、的確な手術法選択(SLNB、再建も含め)、Biologyに基づいた判断、国内外のガイドライン遵守、チーム医療での対応などにより、患者さんの満足度、診療レベルの向上を目指しています。



副院長

西村 令喜
Reiki Nishimura

【担当分野】
・乳腺疾患の診断と治療

山口大学医学部(昭和51年卒)
熊本大学大学院(昭和57年)医博



乳腺センター センター長

大佐古 智文
Tomofumi Osako

【担当分野】
・乳腺疾患の診断と治療

熊本大学医学部(平成1年卒)



乳腺センター副部長

西山 康之
Yasuyuki Nishiyama

【担当分野】
・乳腺疾患の診断と治療

熊本大学医学部(平成2年卒)
熊本大学大学院(平成11年)医博



乳腺センター医師

藤末 真実子
Mamiko Fujisue

【担当分野】
・乳腺疾患の診断と治療

熊本大学医学部(平成19年卒)

外科

消化器外科、一般外科、肛門疾患を中心に治療を行っています。当科の一番の特色は、肝動脈化学塞栓療法(TACE)を中心とした肝癌治療です。胆石に対する腹腔鏡下胆のう摘出術が本年中に1000症例に達します。



副院長

山中 剛
Tsuyoshi Yamanaka

【担当分野】
・消化器外科
・肝胆脾疾患
・鼠径ヘルニア治療

弘前大学医学部(昭和54年卒)



一般外科部長

佐野 收
Osamu Sano

【担当分野】
・消化器外科
・肛門疾患

島根医科大学(昭和58年卒)



消化器外科部長

桑原 暢宏
Nobuhiro Kuwahara

【担当分野】
・腹部消化器外科

宮崎医科大学(平成2年卒)

整形外科

本院の基本理念である「患者様を中心とした医療」、「地域に開かれた医療」、「高度医療の提供」を心掛け、一般整形外科、関節リウマチ、THA、TKAを主体とした関節外科を標榜しています。



整形外科部長

飯千 明
Akira Iiboshi

【担当分野】
・整形外科一般
【特に人工関節(股、膝)
・外傷・骨折】

宮崎医科大学(平成4年卒)



整形外科部長

有住 裕一
Yuuichi Arizumi

【担当分野】
・整形外科一般

宮崎医科大学(平成8年卒)



名誉院長

伊勢 紘平
Kouhei Ise

【担当分野】
・リウマチ
・関節外科

熊本大学医学部(昭和44年卒)

皮膚科

皮膚に起こる疾患は、湿疹・皮膚炎、紅斑症、乾癬などの炎症性皮膚疾患、じんましん、薬剤アレルギー、細菌・真菌・ウイルスによる感染性皮膚疾患、水疱症・膠原病などの自己免疫性疾患、腫瘍性皮膚疾患など多岐にわたっており、当科ではそれらのすべてをカバーしています。



副院長

城野 昌義
Masayoshi Johno

【担当分野】
・皮膚悪性腫瘍
・皮膚炎症性疾患
・薬疹
・皮膚感染症

熊本大学医学部(昭和48年卒)



皮膚科部長

丸尾 圭志
Keishi Maruo

【担当分野】
・アトピー性皮膚炎
・炎症性角化症
・薬疹

熊本大学医学部(昭和62年卒)
熊本大学大学院(平成5年)医博



皮膚科医師

中山 若菜
Wakana Nakayama

【担当分野】
・皮膚科一般

自治医科大学医学部(平成17年卒)
熊本大学大学院(平成25年)医博



皮膚科医師

松尾 敦子
Atsuko Matsuo

【担当分野】
・皮膚科一般

佐賀医科大学医学部(平成13年卒)

産婦人科

子宮筋腫・卵巣腫瘍・子宮脱などの良性疾患に加え、平成26年度より悪性腫瘍に対する手術療法や癌化学療法にも積極的に取り組んでいます。また、本年度より女性医師が常勤するようになり、女性医師の診察を希望される患者様への対応も行っています。



産婦人科部長

永井 隆司
Ryuji Nagai

【担当分野】
・婦人科腫瘍
・産婦人科一般

熊本大学医学部(平成2年卒)
熊本大学大学院(平成10年)医博



産婦人科医師

吉里 直子
Naoko Yoshizato

【担当分野】
・婦人科腫瘍
・産婦人科一般

高知医科大学医学部(平成9年卒)
熊本大学大学院(平成16年)医博

眼科

白内障手術に加え、角膜移植、涙道手術、眼瞼結膜疾患に対する手術など、網膜・硝子体手術を除く多岐の手術を行っています。



外科診療部長兼眼科部長

松本 光希
Koki Matsumoto

【担当分野】
・角膜移植
・角膜疾患
・眼感染症
・眼瞼結膜疾患
・白内障手術
・涙道手術

熊本大学医学部(昭和53年卒)
熊本大学大学院(昭和59年)医博



眼科医師

堤 孝之
Takayuki Tsutsumi

【担当分野】
・眼科一般

熊本大学医学部(平成17年卒)

麻酔科

ペインクリニック診療日:

月・水・金曜日の午前中

【主な疾患】帯状疱疹、帯状疱疹後神経痛、三叉神経痛、変形性腰椎症、脊柱管狭窄症、複雑性局所疼痛候群(CRPS)など

平成27年4月1日より二人体制となり、麻酔科としてより充実した医療を提供することが出来るようになりました。



麻酔科部長

大津 哲郎
Tetsuro Ohtsu

【担当分野】
・手術に対する各麻酔
・痛みの治療全般

熊本大学医学部(昭和53年卒)
熊本大学大学院(昭和58年)医博



麻酔科副部長

田口 裕之
Hiroyuki Taguchi

【担当分野】
・手術に対する各麻酔
・痛みの治療全般

熊本大学医学部(平成8年卒)

放射線科

全領域にわたるCT、MRI、RI等の検査を行っています。迅速な画像、及び、検査結果報告書をご提供いたします。CT検査は当日でもお受けできます。MRI検査は数日以内には可能です。



放射線科部長

畑中 義美
Yoshimi Hatanaka

【担当分野】
・放射線診断学
・IVR

熊本大学医学部(昭和57年卒)



放射線科医長

西 潤子
Junko Nishi

【担当分野】
・放射線診断学

熊本大学医学部(平成5年卒)

直通電話

TEL.096-364-9792

FAX.096-362-7823

歯科・口腔外科

感染対策も含め安心して治療が受けられるよう配慮しています。口腔外科治療は炎症・嚢胞・外傷・難抜歯・顎関節症などで、外来のみならず入院下にての治療にも力を入れています。



歯科・口腔外科部長

大林 武久
Takechisa Ohbayashi

【担当分野】
・歯科
・口腔外科(小児歯科)

鹿児島大学歯学部(平成2年卒)
熊本大学大学院(平成22年)医博

病理診断科

迅速かつ正確な病理診断を心がけ、各診療科の医師と協力しながら、患者さまを中心とした医療に努めています。



診療部長
病理診断科部長
(臨床検査科部長)

有馬 信之
Nobuyuki Arima

【担当分野】
・腫瘍病理学
・病理診断一般
(組織診・細胞診)

久留米大学医学部(昭和58年卒)

健診センター



健診センター所長
牧野 泰博
Yasuhiro Makino

【担当分野】
・消化器病(内視鏡)
・乳腺疾患

熊本大学医学部(昭和60年卒)
熊本大学大学院(平成7年)医博



健診センター副所長
西東 葉子
Youko Saitou

【担当分野】
・放射線診断

熊本大学医学部(昭和59年卒)



健診センター医師
佐藤 珠美
Tamami Satoh

【担当分野】
・内科一般
・眼科

熊本大学医学部(平成9年卒)

人間ドックコース

(消費税込)

| | | |
|-------|---|---------|
| 2日コース | 身体計測(身長・体重・体脂肪率・視力・聴力・血圧・腹囲) 眼圧、眼底検査・胸部X線検査・胃透視(X線検査)・心電図・S状結腸内視鏡検査 血液検査[血液学、生化学、免疫学](貧血、肝臓、腎臓、膵臓、脂質、糖、B型肝炎、C型肝炎、炎症反応、糖負荷) 腹部超音波検査・内科診療・骨密度・栄養指導 | 47,520円 |
| 1日コース | 身体計測(身長・体重・体脂肪率・視力・聴力・血圧・腹囲) 眼圧、眼底検査・胸部X線検査・胃透視(X線検査)・心電図 血液検査[血液学、生化学、免疫学](貧血、肝臓、腎臓、膵臓、脂質、糖、B型肝炎、C型肝炎、炎症反応) 腹部超音波検査・内科診療・骨密度 | 37,800円 |

- 胃透視を胃カメラに変更することも可能です。5,400円追加となります。

| | | | |
|-------------|------|---------------|--------|
| 女性 オプション | 乳がん | 乳房エコー | 3,780円 |
| | | マンモグラフィー(2方向) | 6,048円 |
| | 子宮がん | 3,196円 | |

- 熊本市特定健診対象者(国民健康保険者で、40～75歳になる方)は、人間ドック受診の際特定健診費用分(6,960円、ただし非課税国保世帯の方は7,960円)ご本人負担額が少なくなります。
※ご予約時に「特定健診受診券」をお持ちの旨をお伝えください。
- 2日コースはご自宅からの通院となっております。宿泊を希望される場合は、ご紹介致します。
(入院ドック料金には宿泊費は含まれておりません)

熊本市がん検診 がん検診無料クーポン対象者の方は、無料です。

| 検診名 | 対象となる方 | 検診内容 | 自己負担金 | 受診日 |
|---------|---------------------|----------------------|---------------------------------|----------------|
| 子宮頸がん検診 | 20歳以上で年度内に偶数年齢となる女性 | 問診・視診 内診・細胞診 | 1,200円 | 月～金 午前 金 午後 |
| 乳がん検診 | 40歳以上で年度内に偶数年齢となる女性 | 問診・視診・触診 マンモグラフィー | 40歳代の方 1,500円 50歳以上の方 1,100円 | 月～金 午後のみ |
| 大腸がん検診 | 年度内に40歳以上になる方 | 問診 便潜血検査 | 500円 | 月～金 午前・午後 |

お問い合わせ先

健診センター TEL.096-364-6000(内線3555)
年末年始・お盆等休診がございます。
予約受付時間/月～金曜(土・日・祝日を除く)午前11時～午後4時

当院は、「在宅療養支援病院」施設基準を
取得している医療機関です。

在宅療養中の バックベッドとして ご利用できます。

在宅療養中の急変時の入院
ベッドを確保しています。
(ただし、脳疾患・心疾患の急性
期には対応できません。)

24時間受け入れ体制を整備
しておりますので、下記までお電
話ください。



皮膚科専門医 訪問診療

外来通院が困難な患者さまに
対して、在宅主治医の指示のもと、
皮膚科専門医が往診いたします。
これまで、褥瘡・類天疱瘡・か
ゆみ・胃瘻、人工呼吸器接続部
のかぶれなどに対して往診を
行っています。

まずは下記までご連絡ください。

往診日

水曜・木曜の午前中

レスパイト入院

在宅療養中の患者さまと介助
なさっているご家族が安心して在
宅医療を続けていただくための
支援として、レスパイト入院を
行っています。常時医療管理が必
要な患者さんが在宅で療養され
ており、介助者の事情により在宅
で介助が一時的に困難になった
場合に、患者さまが短期入院(お
おむね1週間)する仕組みです。

介助者の事情とは、介助者の
休養(レスパイト)、疾病やけが、
出産、冠婚葬祭などです。

当院の在宅医療についてのお問い合わせ・お申込み窓口

TEL.096-364-6000
(24時間対応)

FAX.096-364-8585
(月～金 8:30～17:00)

